

CTGの建交労とちぎ

発行所 全日本建設交通一般労働組合
栃木県本部 〒327-0315
栃木県佐野市吉水駅前1-2-1
0283-62-7312 fax 0283-62-7318
http://www.dumptcg.org/
E-mail:kenkourou@dumptcg.org

大会直前に消費税増税延期の報道が。今年四月の引き上げは我々庶民の生活を直撃「アベノミクス」の失敗は明らかです。「延期」ではなく「廃止」すべきです。来月実施される衆議院選挙で意思を示そう！

ダンプ支部大会

担い手つくられる業界に



今年も会場一杯に組合員が結集しました。



「組合員としての自覚を」熱く訴える工藤委員長

十一月十六日、佐野市「あくどプラザ」で第三十四回ダンプ支部定期大会を組合員百二十三人の参加で開催しました。

工藤委員長はあいさつのなかで「消費税の引き上げによってさらに生活は苦しくなっている。一部に限定されている単価改善を全体に広げるために、さらに強大な組合にする必要がある」と訴えました。

来賓の栃木県労連阿波議長は「佐野市には足尾鉛毒事件を闘った田中正造の伝統がある」と社会的弱者の立場にたつた運動の大切さを語られました。

また、宇都宮市のタクシー会社SATAクシー労働組合の熊倉委員長が争議支援の訴えをおこないました。

二年連続で組織増実現

川田副委員長は「今年一年間で九四人の新加入者を迎え入れることができた。これは過

去一〇年で一番多く三期連続の純増を達成した」と報告、石井書記次長は運動方針のなかで「業界の担い手を育てるためには大幅な労働条件の改善、とくに過積載問題は避けて通れない」と、若者が安心して働き続けることができる環境整備の重要性を訴えました。

道路法厳罰化について緊急学習会を開催

国土交通省は大会直前の十一月七日「悪質な重量制限違反者への告発について」と題する対策方針を公表しました。大会ではこの問題について、緊急学習会を行いました。いま業界では、この法改正をめぐる混乱

が広がっています。学習会では

道路交通法の改正ではないので、違反点数は一切変わらないこと。

国交省による現地取締りで検挙され車両総重量の二倍以上で測定された場合、道路法違反として告発されること。

参加した組合員の声



などを資料をもとに学習会を行いました。このほか、今年五月に施行された「自動車運転死傷処罰法」についても学習し、安全運転にたいする意識を高めました。



学習会は参加者も真剣そのもの。参加者が正確に理解し仲間に広げることを確認しました。

亀田豊次さん

「今年の大会はいつになく緊張感があったと思う。やはり道路法の関係とか身近な問題だけに関心が高かったのでは」

森田新造さん

「一年一回の大会でしか顔を合わさない人が多い。懐かしい人に会える機会でもあり来年も参加したい」

斉藤正道さん

「過積載の方針はきれいごとだ。みんなわかってはいるけどやめるわけにいかないから」

い。もっと現実的な方針を」

山下光悦さん

「議案はよくわからなかった。しかしみんな老けたなあ。若い人がやっていける業界にしたい」

須藤勝男さん

「参加者も多く活気があったと思う。少し仕事が増えてきたからかな。学習会は参考になった。『重量二倍以上で一発免許取消しになる』とか、無線でいい加減な話が飛び交っているからね」